

不登校経験者が語る 学校に行かない 子どもの心の中

親にしてもらって嬉しかったことや困ったことなど、
当事者の本音を聞いてみませんか。

令和4年

2月6日(日) 13~16時

ひばりが丘公民館 ※質疑応答、交流会も行う予定です

定員
20人
(申込順)

お話：NPO法人全国不登校新聞社

子ども若者編集部員 / 理事 茂手木 涼岳

『不登校新聞』は、「当事者の声に寄り添う」をモットーに、日本で唯一の不登校・ひきこもり専門誌として、1998年創刊される。不登校に関わる問題や子どもの権利について、またひきこもりや社会のあり方について考え伝えている。全国不登校新聞社子ども若者編集部員となった不登校経験者が、編集に携わる茂手木氏と共に登壇する。

対象：市内在住・在勤・在学者

申込：1月6日(木)10時から

電話かメールで

ひばりが丘公民館へ



メール用QRコード

☎ 042-424-3011 (平日9~17時)

✉ hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp

<メール申込の場合>

件名：「学校に行かない子どもの心の中」申込

本文：氏名(ふりがな)

住所(町名のみ)

日中連絡の取れる電話番号

(お子さんの学年・性別)

※後日返信メールを送ります。

返信がない場合は電話でお問い合わせください。

◎お話し：NPO法人全国不登校新聞社 子ども若者編集部員

記事の執筆のほか執筆企画やインタビュー企画の立案、インタビューの実施・同行、主催イベントの開催・運営、外部での講演活動も行う。

も て ぎ りょうが

茂手木 涼岳(NPO法人全国不登校新聞社理事)

1981年生まれ。2010年より全国不登校新聞社勤務。

主な担当業務は編集と、不登校ひきこもり経験者のグループ「子ども若者編集部」の運営。2児の父。

◎申込：1月6日(木)10時から 電話かメールでひばりが丘公民館へ

<メール申込の場合>

件名：「学校に行かない子どもの心の中」申込

本文：氏名(ふりがな)

住所(町名のみ)

日中連絡の取れる電話番号

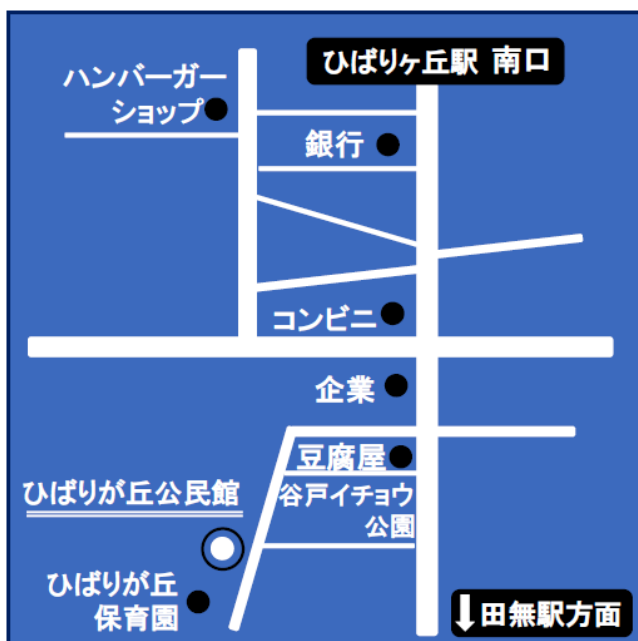
(お子さんの学年・性別)



メール用QRコード

※後日返信メールを送ります。返信がない場合は電話でお問い合わせください。

◎アクセス



ひばりが丘公民館

西東京市ひばりが丘2-3-4
(都営ひばりが丘二丁目アパート4号棟1階)

電話 : 042-424-3011

メール : hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp

◆西武池袋線「ひばりヶ丘駅」南口より徒歩10分

◆西武新宿線「田無駅」北口より

西武バス【境03】

谷戸経由「ひばりヶ丘駅行き」

バス停「谷戸イチョウ公園」下車徒歩3分